

「住まう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ・申込み】 U&Iときめき課 ☎773-6659

南魚沼市で輝くひと（第15回） あだちともひこ 足立知彦さん

平成30年12月まで辻又地区で地域おこし協力隊として3年間の活動を終え、現在は浦佐地域づくり協議会で地域の特性を生かしたまちづくりに尽力している、足立知彦さんを紹介します。

Q. 地域おこし協力隊になったきっかけは？

A. 中越地震の時のボランティアがきっかけで、十日町市で東京の子どもたちを呼んで田植えなどの自然体験を行うようになりました。その中で、自然豊かな中越地域に住みたいと考えていたところ、ちょうど募集があった南魚沼の隊員に応募しました。

Q. 地域おこし協力隊としてどのような活動をされたのですか？

A. 主に古民家の改修と昔ながらの手作業の稲作を行いました。その他、一人暮らしの高齢者宅の除雪や運動会、祭りなどの行事を手伝いました。

Q. 1番印象に残っていることは？

A. 稲作を通じた交流です。ハザ掛けなどの昔ながらの稲作をしているうちに、地域の人が「懐かしい風景だね」と言ってくれたり、熟練の技のアドバイスをいただいたり、関心を持ってくれるようになりました。「日ごろ食べているお米がどうやってできているのか子どもたちに体験させたい」と東京在住の友人が家族で稲刈り体験に来て、「昔ながらの環境が逆に新鮮」と喜んでくれています。これからもこういった地道な交流を続けていきたいと思えます。

Q. 今後、どんな南魚沼になってほしいですか？



A. 地域を盛り上げる活動を行う若者が市内に増えていますが、市内だけではなく近隣市町とも繋がりをもって「ここらへんの地域」で一緒に盛り上がれるといいですね。

Q. 移住を考えている人へ向けて一言！

A. 移住する前に春夏秋冬をぜひ経験して欲しいです。あとは、自分のライフスタイルにあった方法で何度も通って、南魚沼を好きになってもらいたいです。



ふるさと納税

全国のみなさんから、平成30年4月1日～12月31日の期間に、約31,000件10億円を超えるご寄付をいただきました。1月15日(火)からは、良質良品を取り扱うふるさと納税の寄付サイト「ジー・コールG-call」からも南魚沼市への寄付申し込みができるようになりました。

今後もより一層、全国のみなさんに市の魅力をお届けしながら、応援いただける人との交流の機会を増やしていきます。

田舎ライフ塾を開催しています



移住や二拠点ライフを検討中の首都圏住民を対象に、田舎ライフ塾を開催しています。第1回目を1月15日(火)に都内で開催し、21人の参加者に向け移住後の住まいや就業など、暮らし方について紹介しました。

第2回目を2月7日(木)に都内で、第3回目の3月2日(土)～3日(日)を市内で開催します。第3回目は、現地交流として市民や企業などの地域内の関係者との意見交換や交流を行います。